

# Existence

Arata Matsumoto

April 2023

## 1 概要

流れ行くレシートとそれに印刷されるバーコードは、過去を生きた名もない人生のアーカイブとしての役割を持つ。彼らは皆、至って普通の人生を全うした。しかし今となっては、誰も彼らの名前を知らない。彼らがかつて、この地球上のどこかに存在したことにすらも気づかない。

打って変わって、時には歴史に名を残すような人生もある。彼らの存在は、あらゆる文献によって後世まで広く認知されることとなる。しかしそれも、それを認知する人間という種族が存続する限りである。

つまり本質的には、個人の存在はその功績には依存しない。全てはいずれ忘れ去られるからである。つまり存在とは、他からの認知・承認を必要としないものであると考える。

当作品は、インタラクティブ要素を含む空間インスタレーション作品である。

厚生労働省が発表している日本人の平均寿命データを実装したモデルが、ランダムな寿命データをリアルタイムに出力する。寿命の年数分のライフイベントを単体の英語動詞として割り当て、人生の経過割合に応じて動詞、性別、年齢をバーコードデータにエンコードする。

それらのバーコードをレシートプリンタでプリントする。スキャナでバーコードを読み取ることで、動詞、性別、年齢がデコードされ、それに対応した自動音声によって読み上げられる。